

議会報告会会議録	
1 開 会 日	平成 29 年 11 月 11 日（土） 午前 10 時 00 分 開会 午前 11 時 30 分 閉会
2 場 所	国府支所 2 階 第 1・2 会議室
3 出席議員	関 威國議長 （開会あいさつ） 竹内恵美子副議長（閉会あいさつ） 奥津勝子議員 （司会進行） 三澤龍夫議員 （平成 28 年度決算の主な審査内容について） 玉虫志保実議員 （ ） 柴崎 茂議員 （ ） 全議員 （少人数に分かれての意見交換） 清田文雄議員 （記 録） 渡辺順子議員 （ ） 吉川重雄議員 （会場受付） 坂田よう子議員 （ ） 二宮加寿子議員 （マイク設置等） 坂田よう子議員 （写真撮影） 高橋英俊議員 （パワーポイント操作） 鈴木京子議員 （ ）
4 参加者	26 人
5 報告事項	（１）平成 28 年度決算の主な審査内容について （２）少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・関議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 14 回目を迎えた。今回は平成 28 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 28 年度決算の主な審査内容報告

・・・三澤龍夫議員、玉虫志保実議員、柴崎茂議員

『議会だよりおおいそ』第 189 号及び議会報告会資料に基づき、平成 28 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 議員は中学校のデリバリー給食を食べたことがあるか。デリバリー給食が休止となり各自弁当持参となっているため、家庭の費用負担は増えている。弁当を作れる家庭ばかりではない。育ちざかりの中学生は将来の大磯町を背負って立つ人間である。町の予算を多少なりとも余分に使っても反対する人はいない。美味しく喜んで食べることができる給食を考えていただきたい。

答： デリバリー給食が始まった日に学校に行き生徒と一緒に給食を食べた。その時に髪の毛が混入していたため、厳しく改善するように求めた。デリバリー給食の保護者負担は、一月 4,900 円で、一食 350 円である。休止以後は返金される予定である。12 月までは家庭の負担だと説明している。家庭弁当以外にコンビニで買ってくることも許可している。

問： 中学校給食の今後の対応についてどのようになるのか教えてほしい。デリバリー給食は最初から全員賛成ではない。問題がいっぱいあったのに放置していたことが問題である。休止にする際も連絡が遅い。とにかく、一つ一つの対応が遅く誠意を感じられない。12 月中に違う業者を探すと聞いたが本当なのか。

答： 給食の懇話会が開催されたが結論は出ていない。弁護士を介して協議しているということで、議会も休止になった理由を聞くことができていない。今

後、中学校給食については福祉文教常任委員会で審査していく。そこで町からの報告を受ける予定である。他の業者については、探したが断られ見つからないと聞いている。

問： 高齢者として、町内の病院（東海大学大磯病院）に安心してかかりたい。東海大の対応が悪い。高齢者なので町外の病院に行くことは金銭的にも運転の面でも大変である。住んでいる近くの病院で安心してかかれるように町として調べていただきたい。

答： 改善を求めて町に伝える。

（３）少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが４グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ１（町民６名・議員３名（三澤龍夫議員・高橋英俊議員・奥津勝子議員））

意： 県道相模原大磯線の生沢西乃池橋交差点に、伊勢原方面からの右折レーンがなく非常に曲がりにくい。右折レーンが設置されるということだったがどうなっているのか。

意： 給食の問題は教育委員会の動きが分かりづらい。また、学校と教育委員会の関係も分かりにくい。議会としてしっかりチェックしてほしい。

意： 給食業者は１０年以上営業している。大磯町の中学校給食だけが問題になった。議会としてすぐに対応できなかったのか。

意： 町は観光立町を目指しているが、もっと防災に予算をかけるべきではないか。

意： 馬場公園のベンチやトイレの補修、修繕をしてほしい。石神台の公園にトイレを設置してほしい。

意： 新しく引っ越してきた人にごみの分別方法をしっかり説明し指導してほしい。注意書きの看板を設置し、アパートの入居者には大家さんにも協力してもらってほしい。

意： 運動公園の野球場について、しっかりと予算をかけて硬式野球が使えるように改修するべき。

グループ２（町民６名・議員３名（玉虫志保実議員・鈴木京子議員・柴崎茂議員））

意： 運動公園やマリア道にお金を使うより、生活道路の維持管理に予算を回してほしい。

意： 中学校給食の問題がテレビなどで大きく報道され関西に住む友人から連絡があった。大磯ブランドどころではない。早く対応をすべきではないか。

- 意： 中学校給食の問題をなぜここまで放置したのか。スクールランチは最初から髪の毛が入っていたと聞く。小学校であればすぐ対応したはず。事業者が給食を作る作業風景や片づけなどは実際に見ているのか。
- 意： 中学校給食に関わる町と事業者との契約内容を把握しているか。契約書に異物混入など瑕疵についての条項はないのか。
- 意： 自主防災組織で避難所のトイレ設置訓練を行っているが、国府小学校のマンホールトイレについては水圧が弱く使えない。町に言う「検討している」と言われるだけで進展していない。町が検討しているのかどうか、また、使えない理由を調べてほしい。
- 意： 中学校給食の問題は議会にも責任がある。慎重に準備に関わったか、やろうとしているときにどれだけ入ったか、議会のあり方にも問題があると思う。悪い報道はこれで最後にしてほしい。
- 意： 議会の情報収集能力が弱い。中学校給食の事業者を呼び、話を聞くなど考え直してほしい。これからどうするのか、教訓を生かすための検証が必要と考える。馴れ合いでない町との情報交換も必要ではないか。

グループ3(町民5名・議員2名(清田文雄議員・吉川重雄議員))

- 意： 災害時の避難場所である国府小学校は災害時の電気使用に問題はないか。ソーラー発電は設置されているが災害時に使用できるのか。蓄電設備はあるのか。自分の地区は地盤が弱いので心配である。
- 意： 運動公園が避難場所の一つになっているが、場所が分からない町民もいる。誰にでも分かるような看板設置があると良いと思う。
- 意： デリバリー給食について、業者に委託することは結構だが、その後の目配りが無かったことが問題。委託し、後は知らないという対応が問題を大きくした。今後の対応や改善策を議会が知らなかったのは問題である。この問題を悪く考えずにチャンスと捉え今後に生かしてほしい。
- 意： 国府小学校の災害時に使用するマンホールを使ったトイレが使用できないと聞いたが一体どうなっているのか。
- 意： たかとり幼稚園の雨漏りがまだ直っていない。一体いつまで修理が終わらないのか。何度か税金を使って修理しているのに何をやっているのか。
- 意： 恒道会の問題について、今もまだ問題があり町民としては不安である。なぜもっとしっかりとした対応ができないのか。
- 意： 平成28年度の決算で一般会計予算は不認定になったが、行政にはどんな影響があるのか。例えば支払いができないなどの問題は出ないか。
- 意： 滄浪閣の跡地問題はどうなるのか。国が管理していく話はあるが、町民が使えるようなギャラリーや集会場としての利用を考えてほしい。
- 意： 住居近くにイノシシが出没する。近所には小さい子供がいるので心配であ

る。対応策を考えてほしい。

グループ 4 (町民 5 名・議員 3 名 (二宮加寿子議員・坂田よう子議員・渡辺順子議員))

意： 高橋議員が平成 29 年 3 月定例会で防災について一般質問しているなかで、要支援者の名簿が民生委員に情報提供されると、議会だよりおおいそ第 186 号に書いてあったが、動けない人が手を挙げないため情報が来ない。

意： 危機管理課と福祉課の連携ができていないのではないかな。手を挙げなくても強制的に名簿をつくることのできるのではないかな。

意： みなとオアシスの件で漁業協同組合との話し合いはできているのか。賑わい交流施設のメンテナンスは赤字になるのか。

意： 旧吉田茂邸内で飲食ができないとリピーターが増えない。

意： 明治 150 周年関連施策計画のイメージがつかめない。

意： 議会だよりおおいそ 189 号の二宮議員の一般質問を読むと国府小学校の災害用マンホールトイレが使えるように書かれているが、使えないのではないかな。国府小学校の災害用のトイレを使いやすくしてほしい。せっかく作ったので有効利用できるようにしてほしい。

意： 町内に自主防災倉庫はいくつあるのか。管理は誰がしているのか。老朽化しているが災害時に機能するのか。照明もつかず扉も開かない。修理の費用はどこから出るのか。

意： 町から各地区に防災の費用が出て各地区が管理しているが、3 万円ではとてもではないが足りない。地区によって町から出ているお金に違いがあるのか。もっと出してほしい。

意： 国府新宿の文化祭の際に、町長からスタンドパイプを増やしてほしいと言われたが地区が買うのか。

意： 乗合タクシーのルートはどうやって決めたのか。二宮町はコミュニティバスを使っている。黒岩は交通の便が悪く買い物難民になっている。使いやすい公共交通を考えてほしい。

(4) 閉 会
